

政策目標	番号	重要業績評価指標	ページ番号	担当課
①競争力のある産業振興による活力あるまちづくり	1	いちご生産額	1	産業課
	1	新規創業件数	1	商工観光課
	1	新規雇用者数	1	商工観光課
	(1)①	新規就農者数	1	産業課
	(1)②	給食での地場産物利用率	1	給食センター
	(1)③	商品開発数	1	商工観光課
	(2)①	地域DMOの設立	2	商工観光課
	(2)②	着地型・体験型観光による入込者数	2	商工観光課
	(2)③	着地型・体験型観光参加者レポート者数	2	商工観光課
	(3)①	地域優良品認証数	2	商工観光課
	(3)②	商品開発数(再掲)	2	商工観光課
	(4)①	新規就農者数(再掲)	3	産業課
	(4)②	新規就漁者数	3	産業課
	(5)①	新規創業件数	3	商工観光課
	(5)②	新規雇用者数	3	商工観光課
②潜在価値と魅力を活かした選ばれたまちづくり	2	転入者数	4	企画課
	2	交流・関係人口数	4	企画課(商工観光課・保健福祉課・社会教育)
	(1)①	うらかわ生活体験滞在延日数	4	商工観光課
	(1)②	移住者数	4	商工観光課
	(2)①	合宿入込数	5	商工観光課
	(2)②	外国人宿泊客数	5	商工観光課
	(3)①	農林漁家民泊者数	6	商工観光課
	(3)②	乗馬療育利用者数	6	保健福祉課
(4)	ふるさと納税額	6	総務課	
③子育て世代を支える優しいまちづくり	3	出生者数	7	企画課
	3	合計特殊出生率	7	保健福祉課
	3	子育て環境に関する満足度	7	企画課
	3	教育に関する満足度	7	企画課
	(1)①	年間結婚数	7	企画課
	(1)②	新規雇用者数(再掲)	7	商工観光課
	(2)	子育て相談支援事業利用者数	7	子育て医療課
	(3)①	放課後児童保育利用者延数	8	子育て医療課
	(3)②	保育士修学資金貸付者数	8	子育て医療課
	(4)	全国学力・学習状況調査	8	管理課
④安心と連携で支えるまちづくり	4	社会減少数(転出-転入)	9	企画課
	4	暮らしやすい町に関する満足度	9	企画課
	4	町民活動に関する満足度	9	企画課
	4	広域連携に関する満足度	9	企画課
	(1)①	介護施設新規雇用者数	9	保健福祉課
	(1)②	医療施設新規雇用者数	9	保健福祉課
	(2)①	空き家利活用戸数	10	町民課・商工観光課
	(2)②	オフセット・クレジット販売量	10	産業課
	(3)	Wi-Fiステーション新規設置数	10	商工観光課
	(4)	若者によるまちづくりへの意見の聴取	11	社会教育課・企画課
	(5)	地域間連携事業による交流人数	11	社会教育課・企画課・商工観光課

総合戦略推進状況確認調書

政策目標 1：競争力のある産業振興による活力あるまちづくり

数値目標	基準値(H30)	目標値(R3)	R2	R3
いちご生産額	2億4,878万円	3億1,000万円	2億3,146万円	
新規創業件数	3件	3件	0件	
新規雇用者数	19人	20人	31人	

【重要業績評価指標】

(1) 第一次産業の振興

重要業績評価指標(KPI)		R2	R3	進捗区分
①新規就農者数 (産業課)	1組/年	2組		順調
②給食での地場産物利用率 (給食センター)	38%/年(R3)	37.4%		概ね順調
③商品開発数 (商工観光課)	3件/年	1件		努力を要する

KPIの現状値に対する要因分析

- ①新規就農者は軽種馬で2組となり、KPIに対し1組増となっている。
今まで35組43人の新規就農者が誕生してきているが、近年はやや低調となっている。
(35組の内訳:いちご25組、トマト2組、肉用牛3組、水稲1組、養蜂1組、軽種馬3組)
- ②地場産物利用率は、前年と比較し0.7%増の37.4%となり、概ね順調に推移している。野菜果物類及び畜産物は前年比で増加したが、新型コロナの影響により昆布・タコの利用率が下がっている。
- ③町HPや観光協会等で周知を行い、相談は数件あったものの、商品開発数は1件のみに留まった。

今後の取組

- ①試験栽培による新品種や栽培管理等の研究及び関連団体との連携による栽培指導の強化。
- ②海産物では鮭・マスの使用量増を目標とし、農産物は野菜等の提供可能な規格外品の使用を更に進める。
- ③事業及び商談会等の周知に努め、特産品として残るような商品となるよう推進する。

総合戦略推進状況確認調書

政策目標 1：競争力のある産業振興による活力あるまちづくり

【重要業績評価指標】

(2) 新たな観光産業の振興

重要業績評価指標 (KPI)		R2	R3	進捗区分
① 地域DMOの設立 (商工観光課)	1件	0件		進行中
② 着地型・体験型観光による 入込者数(商工観光課)	150人/年	74人		努力を要する
③ 着地型・体験型観光参加者 リピート者数(商工観光課)	30人/年	15人		努力を要する

KPIの現状値に対する要因分析

- ① 平成28年度に観光協会の法人化を図り、地域DMO設立に向けた機能強化と収益増加による法人の安定経営を図るため観光推進体制の構築中。
- ②③ 新型コロナウイルスの影響のため入込者数、リピート数ともに減少した。

今後の取組

- ① 法人化した観光協会の戦略的な事業展開に対する支援。
- ②③ これまでの体験プログラムの磨き上げ、乗馬の新しいプログラム等企画開発を進めており、既存プログラムと併せ今後の普及に向けたPRなどえりも岬とんがりロード観光協議会とも連携して進める。

(3) 浦河産品の付加価値向上と消費拡大

重要業績評価指標 (KPI)		R2	R3	進捗区分
① 地域優良品認証数 (商工観光課)	10件/年	0件		進行中
② 商品開発数【再掲】 (商工観光課)	3件/年			

KPIの現状値に対する要因分析

- ① 地域優良品認証については、情報収集に留まっている。
- ② 再掲

今後の取組

- ① 令和2年度からの3か年で、商工会議所が中心となり実施する商工業基盤強化対策事業により、特産品開発の関係推進団体と連携を図り、地域特産品の開発や企業支援、認証などの「地域産品認証制度」の創設を目指す。
- ② 再掲

総合戦略推進状況確認調書

政策目標 1：競争力のある産業振興による活力あるまちづくり

【重要業績評価指標】

(4) 人材・後継者の育成

重要業績評価指標 (KPI)		R2	R3	進捗区分
①新規就農者数【再掲】 (産業課)	1組/年 (R3)			
②新規就漁者数 (産業課)	3人/年 (R3)	5人		順調

KPIの現状値に対する要因分析

①再掲

- ②新規就漁者が5人となりKPIを上回った。制度創設から延べ53人が対象となっているが、離脱された方が6名いる。
(新規就漁者5人の内訳: 拾昆布1人、昆布・その他1人、乗組員3人)
(新規就漁者延べ53人の内訳: 採昆布4人、拾昆布5人、採・拾昆布1人、昆布・その他16人、その他1人、乗組員26人)
(離脱6人の内訳: 昆布・その他3人、乗組員3人)

今後の取組

①再掲

- ②引き続き、地元で地縁のない希望者を地域に受け入れてもらうための支援や、漁業後継者のいない漁家とのマッチング調整を行っていく。

(5) 創業・第2創業支援と雇用の拡充

重要業績評価指標 (KPI)		R2	R3	進捗区分
①新規創業件数 (商工観光課)	3件/年	0件		努力を要する
②新規雇用者数 (商工観光課)	20人/年	31人		順調

KPIの現状値に対する要因分析

- ①新規創業セミナーを4回開催し、創業支援補助金を使用して創業した事業者へのインタビューをまとめたリーフレットを発行したが、新型コロナウイルス感染症等の影響等により創業者はいなかった。
②「新規学卒者雇用促進事業」を活用した1名と「U・Iターン補助事業」を活用した30名を合わせ新規雇用者数は31人となった。(Uターン4名・Iターン26名)

今後の取組

- ①新規創業者への事業計画支援も実施しながら、引き続き制度のPRを進めていく。
②引き続き町広報等による事業のPRを行うとともに、制度の見直しも必要に応じて検討する。

総合戦略推進状況確認調書

政策目標 2：潜在価値と魅力を活かした選ばれるまちづくり

数値目標	基準値(H30)	目標値(R3)	R2	R3
転入者数	680人	800人	655人	
交流・関係人口数	1,383人	2,880人	704人	

【重要業績評価指標】

(1) 移住・二地域居住の促進

重要業績評価指標(KPI)		R2	R3	進捗区分
①うらかわ生活体験滞在 延日数(商工観光課)	5,220日/年(R3)	4,034日		努力を要する
②移住者数 (商工観光課)	35人/年	40人		順調

KPIの現状値に対する要因分析

①うらかわ生活体験事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初申込のあった方からのキャンセル及び緊急事態宣言発令による事業の一時休止により人数及び延日数が減少している。

(39件、延べ1,508日が休止)

②移住者は31世帯40名で昨年より増加しており、順調に推移している。

増加している要因としては、Uターン補助申請により移住者数の把握が容易になったことや首都圏での移住相談会等プロモーションの効果があったものと考えられる。

今後の取組

①冬季間利用の増加促進のため、HPや首都圏プロモーション等において魅力発信を強化するとともに、「うらかわ生活体験住宅確保事業リフォーム補助金」の活用により計画的に体験住宅を確保していく。

②地域から求められる職とのマッチングの仕組みづくりや空き家バンク活用促進事業補助金を活用し、潜在する空き家の掘り起こし等を行い、移住定住希望者へ多くの情報を提供できる体制の構築を図る。

総合戦略推進状況確認調書

政策目標 2：潜在価値と魅力を活かした選ばれるまちづくり

【重要業績評価指標】

(2) 交流・関係人口の増加促進

重要業績評価指標 (KPI)		R2	R3	進捗区分
①合宿入込数 (商工観光課)	2,600人/年(R3)	704人		努力を要する
②外国人宿泊客数 (商工観光課)	380人/年(R3)	79人		努力を要する

KPIの現状値に対する要因分析

- ①新型コロナウイルス感染症拡大の影響からキャンセルが相次ぎ、入込数が減少した。
(キャンセル数:8団体 約990人)
- ②新型コロナウイルスの影響で諸外国の渡航禁止などから大きく減少。

今後の取組

- ①R3に新設した合宿誘致推進補助金の制度周知をし、浦河町での合宿を利用しやすいものとしてPRしていく。
年間を通じた合宿受入体制を確立させ、入込数の向上を図る。
宿泊施設における合宿料金設定等の調整を進め、利用しやすい合宿環境を構築していく。
- ②アフターコロナを見据えインバウンド回復に向けて、国の観光復興支援策等の活用も検討しながら、これまでのアジア圏との関りを中心に四町広域でのプロモーションなどを引き続き実施する。

総合戦略推進状況確認調書

政策目標 2：潜在価値と魅力を活かした選ばれるまちづくり

【重要業績評価指標】

(3) 体験交流人口の増加促進

重要業績評価指標 (KPI)		R2	R3	進捗区分
① 農林漁家民泊者数 (商工観光課)	200人/年	0人		努力を要する
② 乗馬療育利用者数 (保健福祉課)	440人/年 (R3)	250人		努力を要する

KPIの現状値に対する要因分析

- ① 関西圏での商談会等でPRしているが、1回あたりの受入上限(120名)が障壁となり、予約数が伸びていない。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、全ての予約がキャンセルとなった。
(キャンセル数: 2校280名)
- ② 乗馬療育については、はまなす学園や介護予防センター事業で利用されているが、新型コロナウイルスの影響から事業を中止する日が多く250人の利用となった。(利用者R1・・・121日、346人 R2・・・92日、250人)

今後の取組

- ① 幅広い勧誘活動を実施し、新規受入家庭の確保に努めるとともに、現状休止状態となっている受入家庭へ再度受入について協議・調整を図る。
現状の受入家庭数で受入できる小規模校へのPRを強化する。
- ② 新型コロナウイルスの感染対策を強化しながら質の高い乗馬療育の情報発信と提供環境の整備を進める。

(4) 浦河応援団の獲得

重要業績評価指標 (KPI)		R2	R3	進捗区分
ふるさと納税額 (総務課)	550,000千円/年 (R3)	593,810千円		順調

KPIの現状値に対する要因分析

新型コロナウイルス感染拡大により巣もごり需要が高まったことから、繁忙期ではない4月などの寄附が例年よりも伸びたこと、繁忙期である11月頃からポータルサイト上に特集を組めたことが要因。

今後の取組

海産物の不漁などによる在庫不足が起こらないよう、新たな特産品やサービスの掘り起こしや既存の返礼品の寄附額などの見直しをすすめる。

総合戦略推進状況確認調書

政策目標3：子育て世代を支える優しいまちづくり

数値目標	基準値(H30)	目標値(R3)	R2	R3
出生者数	83人	90人	75人	
合計特殊出生率	1.33(H26)	1.40	1.43	
子育て環境に関する満足度	36%(R1)	50%	-	
教育に関する満足度	45%(R1)	60%	-	

【重要業績評価指標】

(1)結婚・定住支援の拡充

重要業績評価指標(KPI)		R2	R3	進捗区分
①年間結婚数 (企画課)	150件/年	121件		概ね順調
②新規雇用者数【再掲】 (商工観光課)	20人/年			

KPIの現状値に対する要因分析

①結婚数(婚姻届数)は、KPIを下回る実績となった。要因の一つとして、新型コロナの影響による減少と、改元に伴う令和婚の反動が推測される。(年間結婚数R1 161件)

②再掲

今後の取組

①引き続き、結婚・子育てしやすい環境整備を進めていく。

②再掲

(2)子育て支援の充実

重要業績評価指標(KPI)		R2	R3	進捗区分
子育て相談支援事業利用者数 (子育て医療課)	5,240人/年	4,794人		概ね順調

KPIの現状値に対する要因分析

子育て交流施設で行うあそびの広場を月曜日も開放した。新型コロナ感染症対策で休止した事業もあるが、利用者は前年より増加しており、概ね順調に推移している。(中止事業 年間計49事業 利用者数R1 4,582人)

今後の取組

町内幼稚園・保育園との定期的な情報共有や、子育て世代包括支援センター、町要保護児童対策地域協議会と連携を強化し、町全体での妊娠期から子育て期まで一貫した相談支援体制を継続していく。

保育所や幼稚園の未就園児の保護者に呼びかけを行い、施設の利用を促した。令和3年度では職員数3名に増員し、施設に職員1名の常駐や月1回の土曜日の開放を行い、子育て支援の充実を図っていく。

総合戦略推進状況確認調書

政策目標3：子育て世代を支える優しいまちづくり

【重要業績評価指標】

(3) 仕事と子育てが両立できる環境づくり

重要業績評価指標(KPI)		R2	R3	進捗区分
①放課後児童保育利用者延数 (子育て医療課)	21,000人/年	14,011人		努力を要する
②保育士修学資金貸付者数 (子育て医療課)	2人/年	2人		順調

KPIの現状値に対する要因分析

- ①児童館、小学校の空き教室などを利用して延利用数は14,011人となり昨年の20,519人と比べ大幅に減少となった。新型コロナウイルス対策による学校休校や感染予防のため未利用者が増加したと思われる。また、家にいる時間に慣れたことによるのも一因と考える。
- ②保育士修学資金貸付で新規2名の応募があった。(R3 1名町立保育所勤務、1名在学中)

今後の取組

- ①新型コロナウイルス感染症による感染予防対策を継続的に行っていくが、大幅な増員は見込めない。今後も引き続き、放課後の遊び場の提供を行っていく。長時間、夏休み・冬休み期間中の学童保育ニーズは民間に委ねていく。
- ②引き続き、保育士を養成する学校や町内の高校や保育所等事業者へ周知を行うとともに、保育士に関心を持ってもらえるような取組みを検討していく。

(4) 教育の充実

重要業績評価指標(KPI)		R2	R3	進捗区分
全国学力・学習状況調査 (管理課)	全道平均点以上	-		進行中

KPIの現状値に対する要因分析

根拠を明確にしての説明や自分の考えを表現することが苦手。
タブレット端末を更新し学習環境の整備を実施した。子どもが主体的に学ぶことができ、家庭学習の場も確保できていることから、タブレット学習は一定の成果があったと考える。
しかし、基礎学力や家庭学習時間は全体的に不足していることからKPIは未達成となった。

今後の取組

浦河町家庭学習の取り組みとアウトメディア宣言の作成。
引き続き、タブレットやICT機器を授業時間や家庭学習等で活用する。
道外学力先進地視察及び研修事業による教員の指導力向上。
学力テスト等の結果の詳細な分析を行い、各々の課題点を洗い出し、弱点を克服する対策を進める。
ALT2名体制による外国語活動の充実。
町負担での教員採用による複式学級の解消。
特別支援教育支援員・日本語支援員を17名配置し、個別支援の充実を図る。

総合戦略推進状況確認調書

政策目標4：安心と連携で支えるまちづくり

数値目標	基準値(H30)	目標値(R3)	R2	R3
社会減少数(転出－転入)	113人	115人以下	60人	
暮らしやすい町に関する満足度	33%(R1)	50%	-	
町民活動に関する満足度	20%(R1)	30%	-	
広域連携に関する満足度	16%(R1)	20%	-	

【重要業績評価指標】

(1) 安心な暮らしの確保

重要業績評価指標(KPI)		R2	R3	進捗区分
①介護施設新規雇用者数 (保健福祉課)	2人/年	7人		順調
②医療施設新規雇用者数 (保健福祉課)	7人/年	4人		努力を要する

KPIの現状値に対する要因分析

- ①介護施設新規雇用者は7名となっているが、うち6名は欠員補充によるもの。しかし、増員分として1名採用している事業所もあることから概ね順調。
- ②医師や看護師を対象とした医師等修学資金は、町HP、浦河高校、浦河看護学校等で周知を行っており、平成29年度に貸付した4名が町内の医療機関に令和2年度より勤務している。

今後の取組

引き続き、医師等修学資金貸付制度及び介護職員等研修事業助成事業の周知を通じて、雇用の促進を図る。

総合戦略推進状況確認調書

政策目標4：安心と連携で支えるまちづくり

【重要業績評価指標】

(2) 資源の有効利用と環境にやさしい地域づくり

重要業績評価指標 (KPI)		R2	R3	進捗区分
①空き家利活用戶数 (町民課・商工観光課)	5件 (R3)	21件		順調
②オフセット・クレジット販売量 (産業課)	50t/co2/年	51t/co2/年		順調

KPIの現状値に対する要因分析

- ①空き家バンクへの掲載21件、成約21件となり、掲載21件のうち3件が空き家バンク活用促進事業補助金を活用した。
- ②販売実績が51t/co2となりKPIを上回った。(内訳 ふるさと納税に係る返礼品30t 企業2社 21t)

今後の取組

- ①空き家バンク活用促進事業補助金のさらなる周知を図り、空き家バンクへの登録件数を増加させ、空き家の利活用を進めていく。また、町内の空き家実態調査を行っていき、利活用へ導いていく。
- ②引き続き、ふるさと納税返礼品等を活用し推進していく。

(3) 地域情報化の推進

重要業績評価指標 (KPI)		R2	R3	進捗区分
Wi-Fiステーション新規設置数 (商工観光課)	3件/年	1件		努力を要する

KPIの現状値に対する要因分析

アエル(団体宿泊棟、再現厩舎、展望室)のみの設置。

今後の取組

引き続き、町内の事業所にWi-Fi設置を推進していく。

総合戦略推進状況確認調書

政策目標4：安心と連携で支えるまちづくり

【重要業績評価指標】

(4) まちづくりへの住民参加の促進

重要業績評価指標 (KPI)		R2	R3	進捗区分
若者によるまちづくりへの意見の聴取 (社会教育課・企画課)	3件/年 (R3)	2件		努力を要する

KPIの現状値に対する要因分析

浦河高校生と町長の懇談会、浦河高校生の学習成果発表会の2件の実績となった。

今後の取組

高校生だけではなく、若い世代(小中学生)の声を聴く機会を増やしていく。

(5) 広域的な地域間連携の促進

重要業績評価指標 (KPI)		R2	R3	進捗区分
地域間連携事業による交流人数 (社会教育課・企画課・商工観光課)	250人/年	0人		努力を要する

KPIの現状値に対する要因分析

新型コロナウイルスの影響により交流事業(天草市:受入、美浦村:派遣)中止。

日高王国事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全ての予約がキャンセルとなった。

(日高王国 予約キャンセル 3団体280名)

今後の取組

天草市、美浦村交流事業は、今後についても多くの方が交流できるよう進めていく。

日高王国事業については、幅広い勧誘活動を実施し、新規受入家庭の確保に努めるとともに、現状休止状態となっている受入家庭へ再度受入について協議・調整を図る。また、現状の受入家庭数で受入できる小規模校へのPRを強化。